

SAPPORO

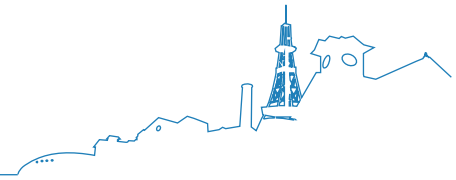
令和4年度夜間中学設置促進説明会

星友館中学校の概要と 開校までの取組について

2022年7月26日（火）

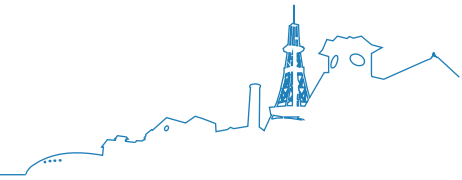
札幌市教育委員会学校教育推進課学びのプロジェクト担当

柴垣



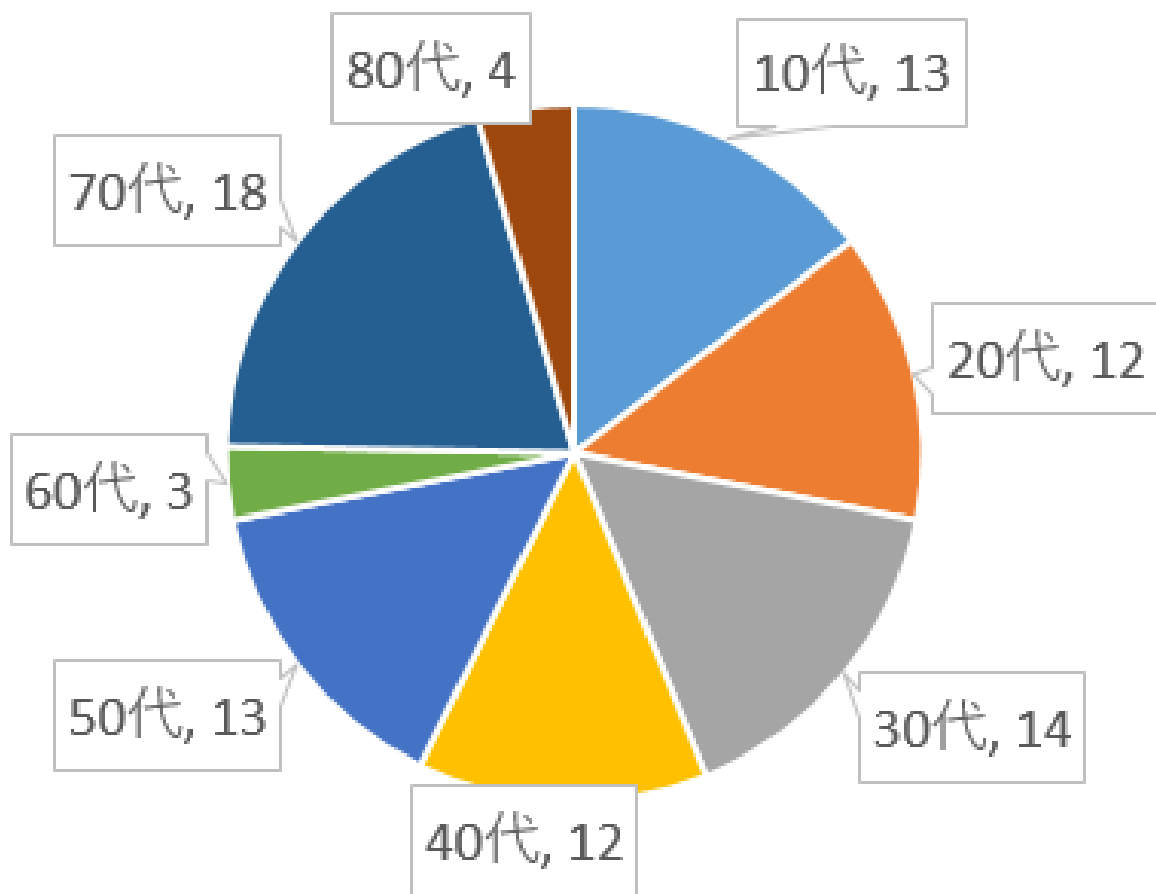
- I 札幌市立星友館中学校の概要
- II 開校までの主な取組、予算、準備体制
- III 星友館中学校開設に向けた工夫
- IV 最後に

札幌市立星友館中学校の概要



○生徒数：89人（7/1時点）

○年齢構成（円グラフ）



○居住地

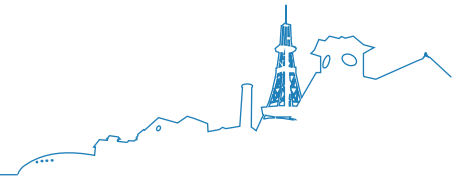
札幌市内81名

市外8名

○外国籍・外国ルーツ
8名



札幌市立星友館中学校の概要

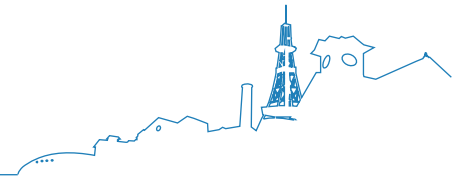


学校の特長①

学年所属に関わらず習熟度別に設定したコースに所属

- ①日本語コース …学習に必要な日本語を身に付けることを中心に行う。
- ②スタートコース …国語・数学を中心に、初歩的な内容をじっくりと学習。
- ③ベーシックコース …小4から小6の基礎的な内容を中心に行う。
- ④ベーシック数学コース…内容はベーシックと同じ。数学の時間が多い。
- ⑤スタンダードコース …小6から中1くらいの内容を中心に行う。
- ⑥チャレンジコース …中学校の内容を扱う。進学希望者向け。

札幌市立星友館中学校の概要



学校の特長②

比較的豊富なスタッフ

①正規教員 14名

校長(1)、教頭(1)、教諭(10)、養護教諭(1)、学校事務職員(1)

②非常勤職員(会計年度職員)

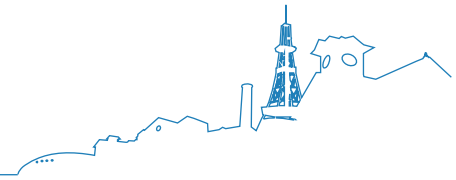
- ・市費時間講師3名(美術、技術、家庭)
- ・道費時間講師(週30時間×40週)
- ・ALT(週3コマ)
- ・スクールカウンセラー(年280時間)

③ボランティア(学習サポーター)

19名の方が希望の曜日に活動



Ⅰ 札幌市立星友館中学校の概要



学校の特長③

自主夜間中学を含めた連携体制の構築

以下の団体と連携体制を組んでいる。

①札幌遠友塾(30年以上の実績がある自主夜間中学)

学校運営の助言、遠友塾からの入学生

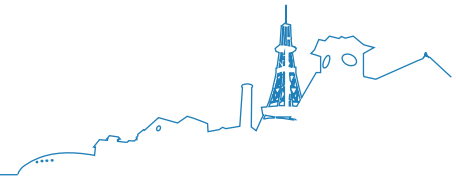
学習サポーターになっていただいているスタッフも

②札幌市若者支援総合センター(様々な悩みを抱える若者のための相談施設)

③公財)札幌国際プラザ(外国籍の方に対する支援を行っている財団法人)

④市立札幌大通高等学校(3部制の定時制高校)

札幌市立星友館中学校の概要



学校の特長④

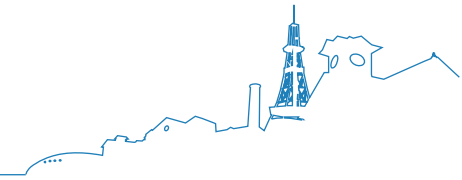
他市町村住民の受け入れも実施

「さっぽろ連携中枢都市圏」という既存の枠組みを活用し、近隣11市町村と覚書を交わし、受け入れを実施。

★ 他市町村住民受入れの基本的な考え方

- 生徒在籍市町村の役割
学校運営費や当該生徒に係る就学援助費を負担
- 北海道の役割
人的支援を実施(週30時間、年間40週程度の時間講師)

札幌市立星友館中学校の概要



学校の特長⑤

学校給食(的なもの)を実施

学校給食法の目標を達成することを目的に、学校給食に準じた仕出し弁当方式の給食を実施

※ 1食550円(自己負担300円、公費負担250円)

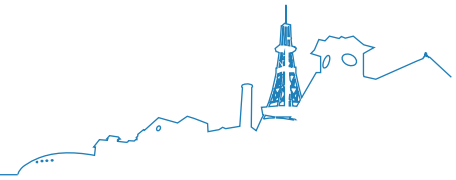
学校の特長⑥

就学支援(就学援助の類似制度)を実施

学齢児童生徒の就学援助に準じた内容で実施。
通学費についても定期券代を上限に援助。



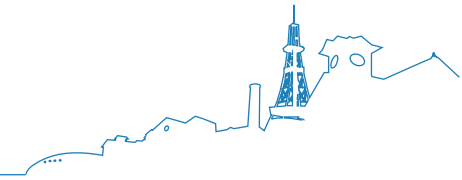
II 開校までの主な取組、予算、準備体制



柴垣が令和元年度に着任した時の状況

- 市長公約で「公立夜間中学を設置する」ことが表明されている
- 内部検討はほとんど進んでいない（ほぼゼロからのスタート）
- 自主夜間中学との関係性はあまりよくない

II 開校までの主な取組、予算、準備体制

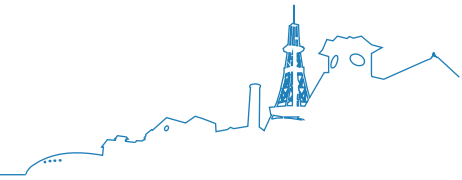


令和元年度にやったこと(開校3年前)

- 夜間中学の勉強 & 自主夜間中学との関係性の改善
- 開設候補地の選定(最終的に場所が決まったのは翌年)
- 対象者アンケート

体制	予算
基本事務係長1人 年度の後半に相談できる指導主 事が1人いた	3,000千円 主にアンケート費用と視察費用

II 開校までの主な取組、予算、準備体制

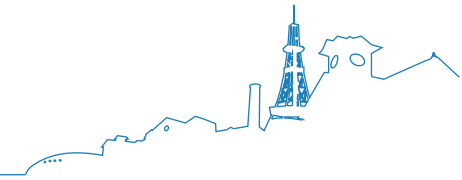


令和2年度にやったこと(開校2年前)

- 学識経験者・有識者によるあり方検討委員会の開催(～7月)
- 基本計画案の作成→市長部局との調整→パブコメ→計画策定
- 教育内容検討に向けた現場教員を入れたプロジェクト開始
- 次年度の初度調弁に向けた積算(4月から開始)
- 他市町村受け入れに係る各種調整

体制	予算
事務係長1人、教員係長1	2,000千円 在り方検討委員会や出張旅費、プロジェクト実施に係る後補充時間講師

II 開校までの主な取組、予算、準備体制

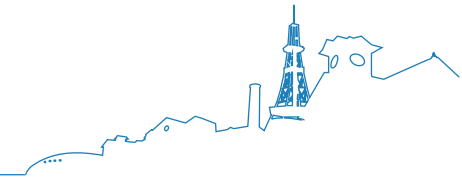


令和3年度にやったこと(開校前年)

- 他市町村受け入れに係る最終調整、覚書の締結(～6月)
- 学校説明会開催→生徒募集(9月下旬から12月下旬まで募集)
- 校章・校歌の決定
- 膨大な備品・消耗品の購入
- その他開校に向けた詳細整理

体制	予算
教員課長1、教員係長2 学校事務1、事務係長1	46,000千円 施設改修費や消耗品、備品購入費で 40,000千円強

II 開校までの主な取組、予算、準備体制



令和4年度 めでたく開校



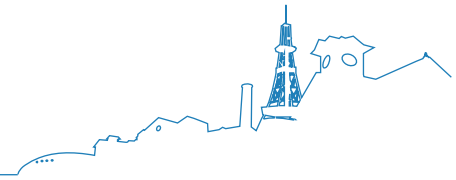
開校式・入学式

令和4年4月19日(火)

【参加者】

- 4月入学生 66名 + ご家族
- ご来賓 70名
- 関係者 約30名
- 教職員等 18名

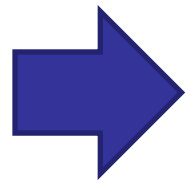
III 星友館中学校開設に向けた工夫



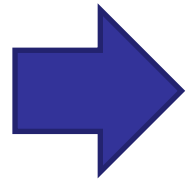
自主夜間中学との協力関係の構築

【最初のご挨拶】

最終的には、どうしてもできないことがあって、ケンカするかもしれないけど、まずは理想の公立夜間中学が何かを教えてほしい！

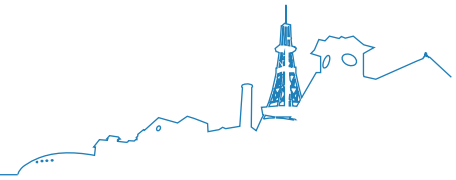


足しげく通った結果、お互いの信頼関係が構築



- 公立夜間中学について丁寧にご教示いただいた
- アンケート作成・配布にも大きな尽力をいただいた
- あり方検討委員会にもご参加いただいた
- 前述のとおり、今も色々ご協力いただいている

III 星友館中学校開設に向けた工夫



アンケートの工夫

○ 夜間中学のアンケートは広く撒いても対象に届かないものと考え、以下のとおり実施。

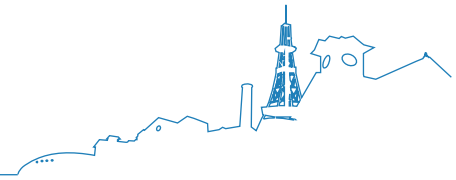
★ 主に日本国籍の方

- ◆ 自主夜間中学の在校生・卒業生にアンケートを実施
- ◆ 不登校傾向の若者を支援している団体を通じてアンケート実施
- ◆ 不登校の親の会にもアンケートにご協力いただいた

★ 外国籍の方

- ◆ 外国籍の方への対応を所管する国際部のアンケートに混ぜて夜間中学のアンケートを実施（無作為抽出で3,000人に送付）

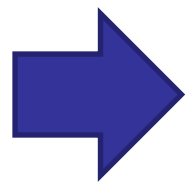
III 星友館中学校開設に向けた工夫



あり方検討委員会の実施

- 有識者や学識経験者の方々の議論のおかげで、計画案は非常に中身の濃いものになった。
- また当該委員会は計画案の後ろ盾としても非常に強力だったと認識。

星友館中学校の目指す姿の整理に大きな役割を担っていただいたことはもちろん

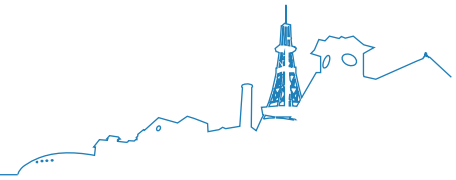


★ 就学支援の実施

★ 給食の実施

の実現にも大きな役割と認識。

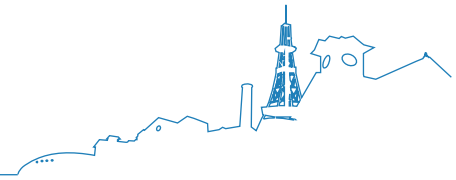
III 星友館中学校開設に向けた工夫



単独校としての設置

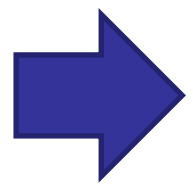
- 設置形態としては、単独校、分校、学級の3種類があるが、明らかに単独校の方が教職員配置が手厚い(標準法上、校長、養護教諭、学校事務職員がつく)。
- 養護教諭や学校事務職員は非常に活躍していただいている。
- また、生徒も多様であり、変化し続ける学校を目指している星友館中学校においては、校長を置けたことも非常に大きい。

III 星友館中学校開設に向けた工夫



広報の工夫

- 北海道では、報道機関が公立夜間中学についてよく報道してくれる土壌があった。

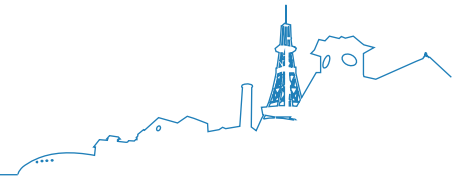


ニュースバリューのある取組を積極的に仕掛けて、頻繁に報道してもらうことで周知が進んだ

★ 取組例

- 校歌をシンガーソングライターの半崎美子さんに依頼
- 校歌お披露目会も実施
- 校名を一般公募
- 校章を中学生から公募し、インターネット投票で決定 など¹⁸

IV 最後に



色々お話をしてきましたが、自分の経験から考えると、良い学校を作るためには、教育委員会の体制も非常に重要です。

新しいタイプの学校を作るということは、やりたい中身を踏まえて新しい仕組みを作る必要があります。

やりたい中身を考えることができる教員系職員と仕組みを作ることができる事務系職員が一緒になって取り組むことが非常に重要と思いますので、そうした体制作りも是非検討いただければと思います。